

国立病院機構新潟病院 たんぼぼ 放課後等デイサービス及び児童発達支援 支援プログラム

赤字：支援プログラム作成に必要な必須項目

作成日	2025年3月18日		
法人（事業所）理念	私たちは、誠意と思いやりと笑顔で患者様に満足していただける医療サービスを提供します（病院の基本理念）		
支援方針	在宅支援の一環として、通所の方法により重症心身障がい児（者）の方の日常生活動作訓練、療育を行うことにより、運動機能等の低下を防止するとともにその発達を促し、併せてご家族の在宅生活支援の一助となり、地域福祉の発展に協力できることを目的としています（たんぼぼサービスの目的）		
営業時間	9時30分から15時30分まで	送迎実績の有無	あり
支援内容			
本人支援	健康・生活	個別性・障害特性等に留意しながら児童の心身の状態を観察し、変化に気がつけるように支援します	
		健康状態の維持に必要な休息、食事、排泄等の生活習慣・リズムが身につくように支援します	
		姿勢、変形・拘縮等に配慮しながら日常生活動作が獲得できるように支援します	
		医療的ケアが必要な児童に応じたケアの実施と環境整備を行います	
	運動・感覚	発達段階や障害（感覚）特性に留意し、見る・聞く・触れる等の五感を活用し活動を行います	
		感覚の過敏や鈍麻等に留意した環境整備を行います	
		身体に刺激を取り入れ、運動能力の維持に向けた支援を行います	
	認知・行動	見る・聞く・触れる等の五感を活用し、認知や行動の手がかりとして活用できるように支援します	
		「朝の会」やボードによる日付曜日天気の確認を行い、1日の始まりを意識できるように支援します	
		活動の前に実物や易しい表現で内容を提示し、興味・関心が持てるように支援します	
	言語 コミュニケーション	さまざまな表情、視線、動作、発声等で自分の気持ちを表現できるように支援します	
		本人の気持ちを汲み取りながら代弁したり、自分で表現できるように支援します	
人間関係 社会性	職員や他者と交流することで相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりできるように支援します		
	集団活動の中で他者を意識しながら楽しく活動に参加できるように支援します		
家族支援	利用時の送り迎えの際、連絡ノートや口頭で児童の体調確認や情報共有を図ります		
	必要に応じ家族の抱える不安や心配事の相談、医療的ケアの相談等を日常的に行います		
	家族の抱える問題点を相談支援専門員と情報共有します		
移行支援	関係機関と連携し、将来的な移行先に向けた助言や相談援助を行いスムーズに移行できるように支援します		
	移行先についての情報提供や移行先の選択について相談援助を行います		
地域支援・地域連携	児童が通う学校等との調整や支援方法等に関する共通理解を図ります		
	個別支援計画の作成または見直しに関するケース会議を共同参画します		
職員の資の向上	法人研修計画に則った研修を実施します		
	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止、身体拘束適正化研修 ・安全管理研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント研修 ・防災、防災BCPIに関する研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・急変時対応シミュレーション ・感染症、感染症BCP研修 ・療育支援に関する研修 等
主な行事等	えんま市、夏企画、ハロウィン、クリスマス会、書き初め、節分 等の季節に合わせた行事		
	外気浴、季節の製作、大型遊具、手浴・足浴、DVD鑑賞、カラオケ、誕生会 等の日中活動		